

2023年12月25日

各 位

株式会社 もみじ銀行

福山ステンレス鋳工株式会社の「SDGs 経営立ち上げ支援サービス」利用による 『SDGs宣言』策定について

もみじ銀行（頭取 小田 宏史）は、持続可能な社会の実現に向けた取り組みとして、「SDGs 経営立ち上げ支援サービス」を開始しており、お客さまのSDGsに関する取り組み状況の診断と今後の課題抽出を行うことで、『SDGs宣言』の策定に向けた支援を行っております。この度、当サービスを通じて、『SDGs宣言』を策定されたお客さまについて、下記のとおりお知らせします。

当行は、地域の皆さんと共に歩み、共に成長するため、様々な事業活動を通じて、多様な課題の解決に取り組み、地域の価値向上を実践していくことにより、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

記

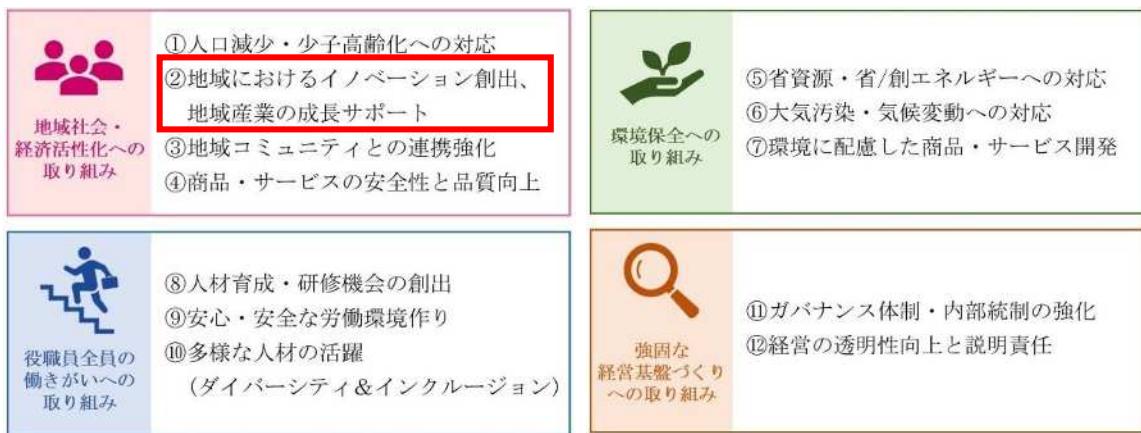
1. 企業概要

企業名	福山ステンレス鋳工株式会社
所在地	広島県福山市簗沖町48-3
代表者	森川 弘基
業種	鋳造・鍛造業
URL	https://fukuyama-stainless.com

※福山ステンレス鋳工株式会社の『SDGs宣言』については、別紙をご参照ください。

2. 山口フィナンシャルグループのマテリアリティ

山口フィナンシャルグループは、持続可能な社会の実現に貢献していくために、「グループサステナビリティ方針」を策定し、この方針に基づき、重点的に取り組むべきESG課題である「マテリアリティ」を特定しております。本件は、12のマテリアリティの中で「②地域におけるイノベーション創出、地域産業の成長サポート」の実現に資する取り組みです。



以 上

【本件に関するお問合せ先】

ワイエムコンサルティング株式会社 担当：清水 TEL：083-250-6411
事業性評価部 ソリューション推進グループ 担当：小林 TEL：082-241-3652



福山ステンレス鋳工株式会社 SDGs宣言

当社は、「3つの責任を果たすため鋳物の火は絶対に消しません（社員に対しての責任、お客様に対しての責任、地域社会に対しての責任）」という経営理念のもと、事業活動を通じて「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献し、地域課題の解決および、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2023年11月1日

福山ステンレス鋳工株式会社

代表取締役 森川 弘基

重点項目(ターゲット2030)

国内トップクラスのステンレス鋳造

長年ステンレスと向き合い培った確かな技術力で、幅広い業界から求められる高品質な鋳物を提供してまいります。熟練の職人が技術と品質を追求し続け、ご満足いただける製品を生み出してまいります。

【主な取り組み】

極めて安定した品質の鋳物砂「セラビーズ」の使用、寸法精度にこだわった木型作り、木型保管専用倉庫、電気炉等の充実した設備、理念達成サイクルの浸透



「鋳物づくりのスペシャリスト」の養成

独自の社員教育に取り組み、スタッフ全員で鋳物づくりを深く学び、共有する場を大切にしてまいります。高い組織力で優れた対応力を実現し、鋳物づくりのスペシャリストの養成と技術の継承に努めてまいります。

【主な取り組み】

社員教育プログラム(討論形式のミーティング・商品勉強会の開催)、キャリアアップ支援、資格取得支援、地域団体主催の研修への参加、多様な人材の確保



環境負荷低減に向けた取り組み

鋳物の製造過程から生じる環境課題に対して責任を持ち、環境負荷低減につながる活動に率先して取り組んでまいります。大気汚染物質の排出抑制や廃棄物の再資源化に尽力し、環境保護に貢献してまいります。

【主な取り組み】

太陽光発電設備・電力使用量計測システムの導入、電気炉の採用、木型の反復使用、廃棄物の成分検査、鋳物砂やスラグ(鉱さい)のリサイクル使用



地域活性化に向けた取り組み

地域社会の一員として、地域の皆様から信頼される企業を目指してまいります。地域内外の多方面と協力体制を築き、社員全員が主体性をもって取り組むことにより、地域全体の活性化につなげてまいります。

【主な取り組み】

「広島県中小企業家同友会」「福山地方鋳造工業協同組合」「備後地区鋳友会」への所属、地元大学生の就職活動支援、地域事業者との優先取引



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」とは

- 貧困、気候変動、人種・性差別、働き方などのさまざまな問題が顕在化する中、持続可能な社会をつくるために国連が定めた国際目標です。2030年までに解決すべき優先課題として、17の目標と169のターゲットが示されています。
- 目標を達成するために、国連や政府だけでなく、企業やNPO、個人等が幅広く担い手として活躍するよう期待されています。
- 企業がSDGsに取り組むことで、「気候変動をはじめ経営環境が変化していく中でも持続可能な組織である」と示すことにつながります。